



議会だより



No. 125
2014.8.1発行

6月定例会報告	
再生可能エネルギーに投資	
公共施設の有効利用	2
臨時会・議案審議結果	4
町政を問う・一般質問に10人が登壇	5
常任委員会レポート	11
議会クイズ・編集後記	12

再生可能エネルギーに投資

公共施設の有効利用



鳩山ニュータウン旧地域下水処理場

第2回定例会

平成26年第2回定例会が6月3日から6月11日まで開催されました。提出議案は、条例の制定に関するもの3件、平成26年度一般会計並びに特別会計等の補正に関するもの3件、町道の廃止・認定に関するもの2件、専決処分承認1件、工事請負契約1件の10件で全議案とも可決されました。また請願が、1件提出され、採択されました。

旧下水処理場に 太陽光発電

公共施設の有効利用を図るため、鳩山ニュータウン旧地域下水処理場に太陽光発電システムを設置する。

工事の概要は建築物等の地上部分を撤去し、鉄骨で架台を組んで、約200キロワットの発電システムを設置するもの。

工事の執行方法は一般競争入札とし、希望業者2社が入札に参加し、その結果、株式会社田中工業が1億7800万円（税別）で落札した。

越辺川に親水公園

トイレや水道施設が

なく風通しも悪い。さらに水が全然見えないが、構想から工事に至るまでの経過は。

答 都市再生整備計画の中で構想を練った。

川から水を引き入れることやトイレの設置等も考えたが、国との交渉の過程で今の形になった。

下流側の改修時に、改めて親水について考えたい。

問 動物の解放の禁止を条例で規定しているが、危惧していることは。

答 公園で犬を離している方がおり、苦情がきている。解放はしないで頂きたい。

問 利用規定等を記した看板の設置は。

答 個別にまた必要に応じて掲示していく。

問 条例に反して使用した場合の罰則は。

答 罰則規定は設けてない。違反を繰り返すようなら入場禁止等、個別に対応する。



越辺川親水公園（赤沼）

一般会計補正予算

亀井農村センター

改築工事

本年度当初予算において工事費総額6400万円を計上したが、施設の有効活用を図るための設計変更や労務単価の改定等により、当初予算を上回るため工事請負費800万円を増額補正する。

問 今後発展させた場合、加工所として使えるのか。

答 6次産業化を進めているので簡単な加工試験ができ、果樹等を冷蔵保管できる設備を入れる。

問 元気臨時交付金を申請する段階での概算設計費と数か月後の実施設計費に差が出たと理解して良いか。

答 交付金の実施計画を策定した時も設計業者に発注をして、実施設計をしたが、敷地を有効活用するため擁壁を追加する。労務単価、資材単価も上がっている。

大雪による

農業被害

問 被災農業者向け支援事業の周知方法は。

答 説明会を開き、支援等を説明し、被災状況調査票を提出頂いた。

問 被災者の思い通りに申請できたか。

答 基準が出ており、それによって申請していたのだ。

問 ことしの仕事に対する対策は。

答 早く再建できるように手続きは行っているが、遅れる形になる。

〈反対討論〉

社会保障・税番号システム改修業務委託料と戸籍総合システム住基連携対応業務委託料で反対する。

個人番号の悪用と特定個人情報提供を拡大する事となる。(根岸)

意見書を国へ提出しました！

今回からご希望により、請願者の方のご意見を全員協議会の場で伺うことになりました。



改築予定の亀井農村センター

「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書

手話とは、ことばを音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使う者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

2006(平成18)年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、2011(平成23)年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務付けており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に知らしめ、聞こえない子供が手話を身につけ、手話を学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要である。

よって鳩山町議会は、政府と国会が上記の内容を踏まえた「手話言語法(仮称)」を制定することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月11日

埼玉県比企郡鳩山町議会

国保会計補正予算

平成25年度の国保会計決算で、1042万4000円の不足になることが判明した。

この不足を法令(※注)に基づき、緊急的に平成26年度の国庫支出金を追加し、繰り上げ充用の支出を追加するもの。

要因として、高齢化の進展や医療給付の伸びなどが上げられる。

問 決算見込みの段階で財源不足が分かったのか。

答 その頃は、賄えと考えていた。

※注―歳入が歳出に不足するときは、翌年度の歳入を繰り上げてこれを充てることができる。

亀井小学校

校舎改修します

平成25年3月議会にて1億5065万円が補正予算に計上されたが、今年度に繰り越されました。

内装工事は夏休み中に、工事は10月末の予定です。この工事が終われば、すべての義務教育施設の改修は完了します。

第2回臨時会

4月24日、第2回臨時会が開かれました。

議案は「町長及び副町長の給料の減額支給に関する条例の制定」1件、そのほか「専決処分の承認」2件の合計3議案です。

町長及び副町長の給料の減額支給に関する条例の制定

本件は、産業振興課職員が平成26年3月までの5年間にわたり「はとやま祭実行委員会」の準公金を横領していた事件の発覚に伴う処分、町長及び副町長の給料を、平成26年5月1日より6カ月間、それぞれ給料月額10%を減ずる議案です。

問 事件の原因と再発防止策をうかがう。

答 外郭団体のお金の取り扱いがきちんと図られていなかったことが最大の原因だった。

執行部より提出された資料によると、再発防止の

取り組みとして、①法令遵守意識の徹底（コンプライアンス研修）②管理職による適切な管理・監督の徹底③外郭団体の運営補助金の一元管理が挙げられています。

問 不祥事が重なって起きたか。

答 昨年末の教育委員会職員の不祥事（臨時職員に対する給与の不適切処理）に続くもので、深刻に捉えている。二度とこのようなことが起きないように、再発防止の先頭に立って、自ら減額条例を提案した。今後職員に綱紀粛正を呼び掛け、町民の信頼を取り戻したい。

問 町民にどのように謝罪するのか。

答 既にさまざまな会合でお詫びを申し上げてきたが、この6カ月間を謹慎期間であるとともに再発防止に取り組む機会としたい。

問 職員をどのように指導していくのか。

答 公務員としての本来のあり方を、直近5月1日の朝礼から始めてさま

ざまな集まりの中で、訴えていきたい。

専決処分の承認

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

低所得者の保険税軽減措置を拡充するもので、4割軽減の方は、現在2人世帯以上が対象ですが、単身世帯も対象とする。ともに、判定所得基準額を引き上げるものです。

(例)3人世帯の場合、給与収入にして現行約147万円が約178万円に引き上がります。

※専決処分とは、通常、議決すべき案件ではあるが、議会を招集する時間がない場合、町長が議会に代わって意思決定する処分です。

特に年度末に地方税法等が改正されるに伴い、市町村は直ちに税条例等を改正する必要があります。今回の2件の専決処分は、そういう性格の議案でした。

議案の審議結果

○は賛成 ●は反対 議は議長

議案	議員氏名												審議結果		
	田中 種夫	松浪健一郎	日坂 和久	森 利夫	野田小百合	小川 唯一	石井 計次	小峰 文夫	松田 隆夫	根岸富一郎	中山 明美	小鷹 房義			
第2回臨時会	町長提出	専決処分の承認(税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認	
	専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認	
	町長及び副町長の給料の減額支給に関する条例の制定	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	議	原案可決	
第2回町長提出	親水公園条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	まちづくり基本条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	税条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	議	原案可決	
	平成26年度一般会計補正予算(第2号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決	
	平成26年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	平成26年度水道事業会計補正予算(第1号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	専決処分の承認(平成26年度国民健康保険特別会計補正予算第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	承認
	工事請負契約の締結(旧下水処理場太陽光発電システム設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
議会	請願	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	採択	
	議員提出	議員派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
		「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

町政を問う!

一般質問 10議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。

これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

- 田中 種夫 議員 1 鳩山町農村公園「まつぼっくり」と亀井農村センターについて
- 日坂 和久 議員 1 認知症の方への対応について
2 平成の国分寺造営でつなぐ古代瓦のふるさと鳩山再現事業について
3 全町公園化・遊休地活用事業の推進について
- 野田小百合 議員 1 社会保障・税番号(マイナンバー)制度の導入について
2 持続可能な自治体をめざして
- 松浪健一郎 議員 1 財政が厳しい、国民健康保険のこれからの運営について
2 昨年から続いた2件の、職員の不祥事について
- 小川 唯一 議員 1 古代窯の活用と他自治体との関係について
2 農業行政について
- 中山 明美 議員 1 図書館の活用について
2 災害時の一次医療の備えについて
3 健康づくりについて
- 根岸富一郎 議員 1 ニュータウン内の必要な商店確保について
2 町の介護保険サービスの現状と今後の計画について
3 計次 議員
- 石井 計次 議員 1 財政について
2 職員の意識改革について
3 まちづくり行政について
- 松田 隆夫 議員 1 財政窮迫の建て直しに向けて
2 全町公園化構想の実現に向けて
- 小峰 文夫 議員 1 企業誘致について
2 太陽光発電による屋根も働く鳩山町について
3 北部開発について
4 町営宴会場づくりについて
5 鳩山中学校プールについて

施設改修

亀井農村センターの利用方法は

6次産業の充実と関係住民の利用拡大を図る

田中 種夫 議員



問 「まつぼっくり」の開設目的と年間経費は。

答 農業技術研修及び学習の場・農業情報交換の場として平成8年に開設され、利用日数は21年度が90日であったが、以後減少が続き24年度は48日となっている。また経費は、22年度から24年度まで年間550万円前後で推移している。

問 農村公園内の大沼について伺う。山火事など近隣地区の災害を考えると水利があり有効であるが、一時期は濁水して底面が見える状態が不安であり検討願いたい。

答 地元水利組合が管理しており、今後協議検討する。

問 亀井農村センターの改築目的と利用方法・開設時期予定はどうか。

答 昭和49年に県からの補助事業で開設され、耐震補強も未整備のため6次産業の取組みも視野に入れ改築の予定である。従来どおり、緊急避難所・選挙投票所・そして地元住民の集会所として

利用する。

問 施設の建設は簡単な事だが、開設後の利用方法が大切である。「まつぼっくり」・「亀井農村センター」については関係者の意見を十分に考慮して一緒になって進めてほしい。近隣の越生町では、一粒から梅の関係者の努力により、多くの商品化が進み現在に至っており、当町においても無理な事はないと考えるが。

答 開発グループ皆様をはじめ多くの方からアドバイスを頂き進めていきたい。



改築が待たれる亀井農村センター

日坂 和久 議員



認知症対応

認知症行方不明者の捜索体制はいかがか

早期発見・保護を行う広域連携体制だ

認知症の方への対応

問 町内の認知症あるいは認知症の疑いのある方の行方不明状況は。

答 過去5年間で50件で、死亡1件、未発見はゼロとなっている。

問 捜索に関して、町内外の関係機関との連携はどのようになっているのか。

答 警察署からの放送依頼により、総務課にて詳細情報を確認のうえ防災無線放送をする。同時に、役場各課への情報提供をし、必要に応じて地域見守りネットワーク構成団体・機関に協力要請をする。また、町外においては、埼玉県徘徊高齢者等SOSネットワークに依頼し、町内と同じ捜索体制がとれるようになっている。

問 平成24年に自動車事故を起こして病院に搬送された患者と医師の会話が全く成立しなかった病院からの連絡（認知症の疑い）によって町はどのように対応したのか。

答 身寄り不明、判断

能力欠乏、自立生活困難の状況であり、町長同意で医療保護入院とした。現在は成年後見人の援助のもと加療中。



古代瓦のふるさと鳩山再生事業

問 今後の国分寺市との連携事業はどのように進めていくのか。

答 古代瓦づくり体験（7・8月）、復元窯焼成実験（10月）、武蔵国分寺文化財めぐり（12月）の3事業を実施する。

全町公園化構想の目的

問 全町公園化・遊休地活用事業を推進する目的は何か、あらためて伺う。

答 町内の歴史・文化・自然資源を活用し、町民の皆様が健康で豊かに暮らせ、町に誇りを持つことができるようにすること。さらに資源を活用し、商業等の活性化を図ること。

野田 小百合 議員



マイナンバー制度

自治体や住民の負担はどうか

効率化・利便性は向上するが心配も

問 社会保障・税番号（マイナンバー）制度導入の目的は。

答 すべての国民が公平公正さを実感し、個人の負担が軽減され、利便性が向上し、個人の権利が、より確実に守られる社会を実現するためである。

問 自治体や住民の負担が軽減すること、増えることは何か。

答 自治体は個人番号を確認するだけで、審査に必要な情報を情報連携で確認することができ、入力の手間が省け、入力ミスがなくなる。また、データ等の保管の手間や保管場所が減る。

住民は申請書の作成や貼付書類が削減され、利便性が向上が見込まれる。個人情報保護など心配が増えることは否めない。

問 個人番号カードのIC領域の独自利用を考えているか。

答 担当窓口での貼付書類の省略、あるいは図書館カード・印鑑登録証をICカードで兼ねるな

ど考えられる。健康情報をデータ化して健康手帳として活用することも考えられるが、検討はこれからである。

問 ワールドカフェ方式など気軽に参加できるスタイルで、住民と一緒に「町の未来」を話し合っ

てはいいかがか。
答 参加者の減少と固定化が顕著なまちづくり懇談会を根本から見直す必要があると感じている。ワールドカフェは非常に興味深い手法。テーマの設定も含め、研究していきたい。

※ワールドカフェとはカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、小グループで話し合うもの。



未来を語ろう！ワールドカフェ in 鎌倉

松浪 健一郎 議員



国民健康保険

一般会計からの繰り入れは

5年間で約2億円弱

問 財政の厳しい国保運営だが、一般会計からどれくらい繰り入れていくか伺う。

答 伸び率は年々増加している。23年度が3400万円、24年度は5299万円、25年度は見込みで6800万円。法定外繰入金は、ここ5年間で約2億円弱。

問 抜本的な対策を伺う。

答 歳出における、医療費の抑制。特定保健指導の受診率のアップ。ジェネリック医薬品の普及促進。医療費分析及びデータの解析など。様々な取り組みを進めたい。また、歳入面では、

問 国保税の収納対策や税率の見直しも視野に入れて取り組みたい。

答 国の方針を受けて国保の「広域化」を進めるようだが、町の考えを伺う。県の方針では、県内どこ



に住んでも同じ所得なら同じ保険税となるような賦課方式を目指し、広域化を推進するにあたり、所得割と均等割からなる賦課方式を標準とし県全域へ普及させる。町としても、県の動向を注視しながら、対応していきたい。

問 鳩山町では、4割軽減、6割軽減と保険料の軽減措置があるが、「広域化」になった場合どうなるか。

答 軽減措置も県内で様々なパターンをシミュレーションをしながら、公平に進めていくと思われる。

焼成瓦の利用

国分寺市、石岡市と密な関係を

情報提供等、大変有意義と考える

小川 唯一 議員



問 復元古代窯を活用したイベントはいつ行うのか。

答 古代瓦体験事業を10月14日から25日まで復元窯焼成実験を予定している。

問 予算はいくらか。

答 95万円の予定。

問 中学生の体験事業として瓦作り参加は出来ないか。

答 来年度以降検討したい。

問 国分寺市との今後のつながりは。

答 何らかの形で連携事業を実施したい。

問 国分寺市の墓壇整備が遅れてないか。

答 10月に焼成した瓦をもって12月に墓壇整備は出来る。

問 石岡市と密な関係を持つべきと思うが。

答 常陸の国の国分寺瓦の一大産地であった石岡市と今後調査を進めるうえで情報提供等、有意義と考える。

問 瓦・須恵器の一大産地として栄えた鳩山をしっかりと世間にアピールしていただきたい。

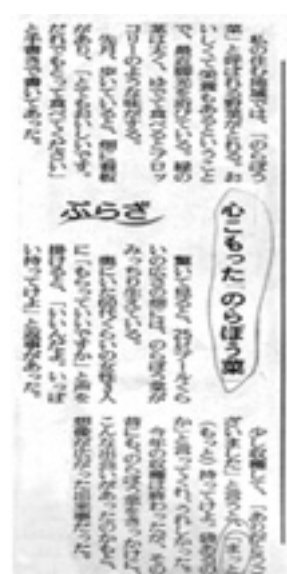
答 鳩山窯跡群の国指定史跡化を目指して頑張りたい。

問 人農地プランの進捗状況と今後のスケジュールは。

答 平成24・25年に町内でプラン作成の推進をした。6割ぐらいは出来た。引き続き推進して行く。

問 町の認定農業者の数と傾向は。

答 現在16人と把握している。平成24年2人の新規があった。



豊かで隔たりのない人間性農政改革で残せるか

中山 明美 議員



災害時一次医療

避難所で救急医療の体制を

関係課、学校などと研究が必要

問 医療器具があれば、搬送できない場合、医師が駆けつけ救急診療することも可能になる。災害時の避難場所に医療器具ほどの程度準備されているのか。

答 医療器具としてAEDを設置しているのが実情。鳩山町地域防災計画でも医療用救護機材と医薬品の備蓄は保健センターと災害備蓄倉庫となっている。

問 耐震化を終えた町立小・中学校、保健センターなどに順次医療救護機材を備蓄してはいかがか。

答 災害時における防災拠点となる施設であり、また応急救護活動の中心となることから、災害時に備えた備蓄の取り組みを行う必要性があるものと認識はしている。

しかし、医療救護機材といっても多種多様である。備蓄目的、保管スペース、保管方法やメンテナンス、専門的な知識、

技術を持った人員の必要性、また予算面などをどのようにするか、そうした点を整理しながら庁内の関係課、あるいは学校などを交え研究する必要がある。

問 地元の医師会との連携はどのようになっているか。

答 平成19年に埼玉県と埼玉県医師会とで災害時の医療救護に関する協定を締結している。

問 比企医師会と個別に協定を結ぶことは考えているか。

答 県単位だけでなく郡単位で協定を結んでいるところもある。災害時の連携が図れるように検討させていただく。



持ち運び可能な救急医療セット

根岸 富一郎 議員



再生創造事業

ニュータウン内の商店確保を

リノベーション事業を活用したい

問 西友リビング館の閉店をどう考えているか。

答 事前の連絡や相談がなかった。情報を集める必要がある。基本的に、民間企業の経営には口出しすべきでないと考えている。

問 薬局が必要という要望をどのように受け止めているか。

答 町内に4店舗ある。商工会と連携して宣伝したい。

問 鳩山ニュータウンづくりをどう考えるか。

答 今後、地方都市リノベーション（再生）事業の活用を研究したい。買い物弱者に対する支援は研究する。西友側から「高齢者向けマーケットティング」などの協力要請があれば、協力する。

問 町内公共交通と商店のニュータウン住民への周知の徹底に力を入れるべきではないか。

答 具体的な内容を載せた広報を行う。

介護の保険外しを問う

問 介護保険で第6期の基金活用は。

答 2億2300万円のうち、7割の1億4300万円を取り崩す。

問 訪問・通所介護サービスは、保険外サービスとなり、見守り、配食、緊急時対応などに切り替わるため、ボランティアなどに任せられる。重体化が予測されるのではないか。

答 現在220人の要支援1・2が外され、市町村の責任として総合事業になる。ボランティアやNPO等を育成し、責任もってサービスをしていく。



鳩山ニュータウン商店街



石井 計次 議員

町の財政

今後の財政確保策を伺う

あらゆる可能性を考える

問 当初予算に占める民生費は30%余りで推移している。予算配分の観点から町の捉え方を伺う。

答 民生費の歳出総額は毎年予算の3割を占めている。

性別別予算のうち最も大きな割合にある。

問 見方を変えると福祉が充実した町と評価できる。反面、一度実施した施策の縮小は弊害を招く。

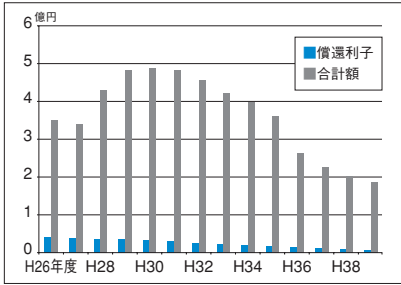
答 民生費の国庫等の歳入も年間5億円程度ある。しかし補助率の低い事業などは当然、町の一般財源からの支出となる。事業の継続は今後の町の大きな財政負担となるので必要性などを検証し事業の廃止、縮小、統合など見直すことも重要と考える。

起債残高と町負担は

問 交付税措置を除く町の負担額を伺う。

答 償還のピークは議員指摘のとおり平成29年度から平成31年度。

起債残高は約53億4千万円、そのうち交付税措



置を除く町の負担額は16億円と試算している。但し将来のまちづくりのため起債の発行も必要で毎年変わっていく。

問 本町でも少子高齢化は喫緊の課題。人口動向は町の自主財源と密接に関係している。

解決策には様々な要素が求められる。町の魅力を町外にPRするなど改善策の道筋・施策を伺う。

答 平成32年の将来人口を1万5千人と見込んでいる。人口増加を図るため住宅開発のハード施策・転入者への報奨金の交付の施策も考えられる。財源確保と支出を考え第5次総合計画で取り組みを進めている。

財政

財政の建て直しにどう取り組むか

基金の減少に歯止めをかけたい



松田 隆夫 議員

問 町の資金繰りの状況をうかがう。

答 平成25年度は基金を繰り入れてやり繰りしたが、資金不足が続き途中、一時借入金(最大で4億円)を利用した。

問 26年度はどうか。

答 当初より基金を繰り入れている。

問 資金繰りが厳しくなった原因は何か。

答 大型公共事業が続いており、タイムラグ(入金支払いに追いつかない状態)が顕在化した。

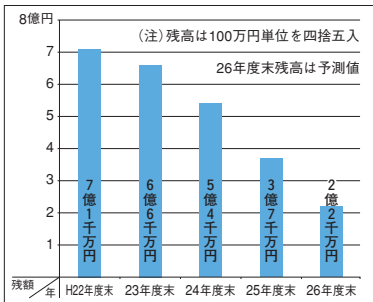
問 国の補正予算にかかる町の公共事業の総額はどれくらいか。

答 平成24・25年度に未執行分を合わせた総事業費は24億8千万円。

問 その間、基金はどの程度減少したのか。

答 主要基金の残高(現金土地合算)は平成23年度末7億8千万円、25年度末4億9千万円で、2億9千万円減少した。

問 26年度末予測の基金残高(現金のみ)は2億2千万円に過ぎ



ない。急激な減少の原因は何か。

答 公共投資の一般財源部分を基金に頼ったことが最大の原因だ。

問 「未来への投資」だが、今日の財政状況で実現可能なのか。

答 福祉健康複合施設は具体的に動き出した。

問 特養以外の訪問看護ステーションなど、諸施設の建設費はどのくらいで、誰が持つのか。

答 町で整備する。10億円くらいはかかる。

問 できるのか?

答 補助金を獲得すべく協議を進めている。

問 さて27年度予算、基金を取り崩さないで編成できるか。

答 その覚悟がある。

小峰 文夫 議員



企業誘致

従業員募集、説明会に何人来たか

来場者2会場の4日間で519人

問 奥田地区に工事中の良品計画の従業員説明会に、ニュータウンの会場と今宿コミュニティセンターの会場、両方の会場合わせて何人の来場者があったか。

答 良品計画の操業開始が平成26年11月の予定なので、その前に従業員の研修を8月から10月の3か月間行う。従業員採用にかかわる説明会を平成26年の5月17、18日、会場は両日ともニュータウンふれあいセンターで、また、同じく5月24、25日、この2日間は今宿コミュニティセンターにおいて開催した。

ニュータウンの会場に5月17日が250人、18日が102人、両日で352人で、今宿コミュニティセンターの会場に5月24日が114人、25日が53人、両日で167人合計519人の来場者があった。

問 薬糧開発オーガニックハウス鳩山農場では最初から工場を建設すると言われていたが、その

後の計画はどうなっているか。

答 工場建設の前提条件として、農地及び工場建設予定地の全地権者の協力が得られることが前提条件である。

現在、全ての地権者の協力が得られているわけではなく、前提条件がまだ満たされていないということで、農場のほうも確保している面積の割にはそうした状態でもあり、かなり効率が悪い状況である。

工場建設を進めていくには地権者のご理解、他の鳩山地内の農地確保も必要ではと考えている。



オーガニックハウス鳩山農場

一部事務組合報告

町の事業を他の市町と共同して行う事業です。

西入間 広域消防組合

5月20日西入間広域消防組合議会臨時会が開催されました。

提出された議案は2議案でそれぞれ慎重審議のうえ可決されました。

工事請負契約 坂戸・鶴ヶ島広域消防組合と共同で行う、消防通信指令業務共同運用整備工事の1議案です。

指名競争入札により、三峰無線株式会社北関東支店が1億1826万円で落札しました。

(松浪)

毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

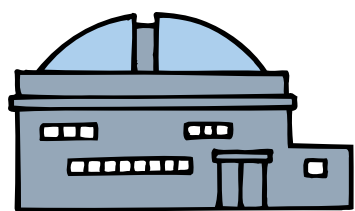
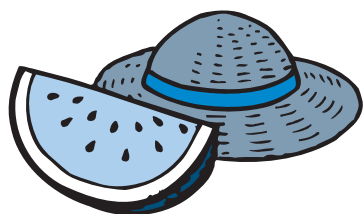
5月28日、平成26年第1回臨時会が開催されました。

議題は、組合の毛呂山処理センター管理棟耐震補強工事委託に関する協定の締結についての1件でした。

協定は、随意契約により日本下水道事業団と税込1億500万円で締結する議案の通り可決しました。

日本下水道事業団は、都道府県及び市町村の出资により設立され、地方公共団体等の要請で、下水道の根幹的施設の建設及び維持管理や技術的援助などを行う事業団です。組合の施設は、平成23年度から平成32年度まで長寿命化計画に基づき改築補強工事が続けられています。

この管理棟は、耐震補



強と付帯工事を年次的に別に行うものです。管理棟は昭和60年に建設したのですが、耐震指標がこの間の大地震によつて見直され、安全率が割増しになりました。耐震診断を行ったところ、※I-S値が0.46〜2.90であったのでこれを補強し、1.02〜2.53にする工事です。(根岸)

※I-S値とは
建物の耐震性能を示す指標です。値が大きいほど耐震性が高くなります。一般的な建物は「0.6以下かどうか」が重要な目安となります。但し、建物の規模や用途によつて異なり、学校施設では「0.7を超えること」となっています。

常任委員会レポート

総務産業常任委員会

日常生活への影響は

西友リビング館閉店

4月24日、西友リビング館の閉店に伴い、地域住民の生活にどのような影響があるか、また、町内の商業の現況や活性化等について調査しました。町民アンケートをもとに、委員から担当各課へ町の商業活性化策の推進について質問がありました。

町としては、現在商業活性化の良策は無く、また、個々の業者による商業活動の実情把握もできていません。

また、民間の経済活動に対して行政の関与は限定すべきであり、逸脱することは難しい



閉店した西友リビング館

準公金横領 発覚

職員の綱紀粛正に 取り組む

5月13日、元産業振興課職員の準公金横領等の不祥事に関し、町長はじめ職員が一体となり、綱紀粛正に取り組む状況の概要説明を受け、その内容を調査しました。

①職員一人ひとりが公務員としてのモラル・法令遵守意識をもって職務を遂行するために、コンプライアンス研修を実施すること。

②外郭団体や実行委員会等の会計事務に関し、適正化を図ること。

③特定された委員会の視察研修は正を実施すること。

本調査事項については、適宜取り組み状況の報告を求めるものとしました。

(日坂)

福祉文教常任委員会

高齢者の現状を踏まえ 施設の整備計画は順調に進む

日程第1 手話言語法(仮称)制定を求める意見書の提出を求める請願について

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子供が、手話を身につけて学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及・研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定することについてを委員会へ付託されました。

委員会として請願について審議し、採択すべきものとして本会議において議長へ報告しました。

日程第2 第2次はとやま健康21プラン・第2次鳩山町食育推進計画の策定について

平成17年度を初年度にし、平成26年度を目標年度とし10年計画を実施しています。

平成21年度に中間評価を実施し、「後期計画」の策定を行い、現在に至っています。

そして平成26年度が最終年度になるため、新たに平成27年度から10年計画で第2次計画を策定しています。

委員会において内容の説明を受け質疑応答により終了しました。

今後の予定については、委員の任期満了に伴い、新たな委員で協議を行い、今後6回の委員会により

平成27年3月末を目途に新規プランの策定をします。

日程第3 福祉・健康複合施設整備計画について

全国的に高齢化が叫ばれており、本町においても団塊世代の方が75歳以上となる平成37年には、65歳以上の高齢者人口割合が47・5%と推計され、2人に1人が高齢者になる見込みです。

そのような中で冒頭の複合施設の建設は必要であると考えられ、今後の予定について説明を受けました。

(田中)

お詫びと訂正

124号「第3 鳩山町における学校給食の新たなあり方について」の文中

「提言書を参考の一部と考へ」

「提言書を基に」と訂正し、お詫び致します。



議会クイズ

(応募方法)

● 正解者の中から抽選で、5人の方に図書カード5000円分を差し上げます。

● クイズの正解と当選者の発表は、次号の議会だよりに掲載します。

124名の当選者5名の方
おめでとうございます！

- 須江 恩田 省三様
- 小用 横田 俊保様
- 楓ヶ丘 友清 秀喜様
- 鳩ヶ丘 林 貞宏様
- 松ヶ丘 佐藤 利子様

★前号の答え

- ①イ
- ②イ
- ③ウ

(応募方法)

はがきに「答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号」を記入してください。

なお「議会だより」や議会に対してのご意見なども、ぜひお聞かせください。

(あて先)

〒350-0392
鳩山町大豆戸184-16
議会事務局「クイズ係」

(締切)

8月18日(月)

(当日消印まで有効)

奮ってご応募ください。

お待ちしております。

どんなご意見・ご感想いただきました

ありがとうございます。スペースの都合で短くさせていただきます。

すべてのご意見にコメントを掲載できませんが、ご意見を活かすべく議会活動を進めてまいります。

子どもが安心して住める町イコール鳩山町であって欲しい。
30代女性

写真などもカラーにして見やすく楽しくしてね。
70代男性

★予算的に全ページカラーは難しいのですが、誌面の工夫で皆さんのハートに迫りますね。

駅から遠い・不便なところをカバーして、若い世代が住みたくなるような方策を検討して欲しい。
60代男性

亀甲橋周辺は歩道がつき、道路が拡幅されました。その先の道路はきれいになりましたが、道幅を広げられなかったのでしょうか。

30代女性

★予算の枠がありますから計画を立て、優先順位をつけて進めていきます。

議会の日程などもっと分かりやすく広報して欲しい。
30代女性

★議会直前に、新聞折込チラシを入れていただきます。他の方法も検討します。

議員の皆さんの活躍がよくわかりました。
70代男性

初めて傍聴しました。一般質問者が、熱心に考え調査し、地域のことを考えて話している様子が分かりました。欠席者が多いのに驚きました。

70代男性

★来ていただいてありがとうございます。椅子の空席は多いのですが、欠席者はいません。昔は議員が22人いました。今は12人です。

編集後記

自分の生き方は自分で決めます。「結婚しろよ」などと人にとやかく言われることではありません。

都議会での女性差別ヤジが話題になりました。議会だけの問題ではなく、まだまだ、女性差別は続いていると改めて考えさせられました。

鳩山町議会をはじめ、200を超える議会から集団的自衛権容認のための解釈改憲に反対・慎重にこの意見書が国に提出されました。国民の声に耳を傾けることを忘れてしまったこの国のあり様は残念です。

今回から新しい編集委員になりました。議会の様子をきちんとお伝えできるように努力してまいります。

(野田)

第125号編集委員

- 委員長 中山 明美
- 委員 根岸 富一郎
- 委員 松田 隆夫
- 委員 野田 小百合
- 委員 森田 利夫
- 委員 松浪 健一郎

次回9月定例会は9月2日(火)から開催予定です

● 請願・陳情は8月25日17時までご提出してください。

● 議会ホームページから音声配信(おおむね3日後から)をしています。

● 音声配信速報版も始めました。翌日(休日を除く)から配信されます。

表紙写真あーのね

亀井小学校では、10年ほど前から3年生以上が、総合的学習の時間に田植えをしています。地域の方々が協力されています。

6月議会傍聴者数

6月3日	1人
6月4日	7人
6月5日	6人
6月6日	5人
6月11日	2人

※傍聴者数は傍聴券を返却された人数です。